

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年3月26日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3990100012
法人名	医療法人 地塩会
事業所名	グループホーム 神田
所在地	〒780-8040 高知県高知市神田字久寿崎2332番1
自己評価作成日	平成21年11月1日
評価結果市町村受理日	平成22年4月16日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年11月19日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=3990100012&SCD=320
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

私たちの介護理念の実践
一人一人の人生を大切にし、自分らしい生活を続けていけるようにお手伝いします。
それぞれが役割を持ち、やりがいと生きがいのある毎日をつくっていきます。
入居者様とスタッフが共に支えあい、地域の中で暖かい暮らしをしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

開設後3年近くになる事業所は、明るく清潔で、利用者同士が楽しげに談話し、職員との明るい会話のやり取りなど、和やかな雰囲気が漂っている。これは「利用者が、ホームで生き生きと楽しく明るく過ごすこと。そのためには何をなすべきか。」を管理者、職員一同が共通認識のうえ、日々のケアに取り組んだ成果を物語るものである。特に、外出支援については、散歩や自宅周辺の訪問など、利用者の希望に耳を傾け、充足感を高める多彩な取り組みをしている。評価結果の改善項目については優先順位をつけて取り組んでおり、検討中のものであるが、順次話し合い解決に向けた努力を続けている。今後も、利用者が安心して地域の中で、その人らしく暮らし続けることができる事業所としての発展が期待できる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフで話し合っって理念を作り、それをホーム内に掲示している。毎朝の申し送り時に声を出して唱和している。理念を基に日々のケアに取り組んでいる。また管理者及び職員が毎月1回必ずミーティングを行い、理念の確認の基にケアの向上に取り組んでいる。	職員全員で意見を出し合い作った理念である。毎日の申し送り時には必ず唱和し、毎月の職員ミーティングでは理念の理解と共有に努め、日々の具体的なケアが理念に沿ったものになるよう取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩時には、近隣の方々に声をかけ顔見知りになるよう努めている。また、地域の方が犬の散歩の途中に立ち寄っていただいたりしている。町内の行事（いきいき百歳体操、町内一斉清掃、フラダンス教室、夏祭り等）に参加している。また、町内会長さんと知人の方がフラダンスを教えに来て頂いたり、近隣の美容室が出張美容に来てくれている。	町内会に加入しており、広報の回覧などで地域の情報は把握できている。3カ月に1回の一斉清掃には利用者も2～3名参加し、作業の後、町内会が準備する食事を共に摂るなど地域との交流を大事にしている。また、いきいき百歳体操で知り合った住民の方や町内会長が立ち寄ってくれたり、公民館の催しに参加するなど、地域の一員として交流を深める努力をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症介護実習生の受け入れを行っている。いずれは地域の方を対象とした認知症についての勉強会等を開催したい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>グループホームの活動内容や日々の状況を報告し、意見交換を行っている。また様々な検討事項についても意見をいただいている。会議で頂いた意見は、サービス向上に活かしている。</p>	<p>事業所から、利用者の生活状況や行事内容、評価結果の課題事項の改善、進捗状況等について報告し、参加委員との質疑・応答形式で多くの意見が出されている。毎回、利用者の参加もあり、本人の希望なども話している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>地域包括支援センターに西部地域グループホーム連絡会の世話役をしていただいております。2カ月に1度の連絡会の席上で、事業所の抱える各種問題について相談に乗ってもらっている。</p>	<p>2カ月毎の西部地区グループホーム連絡協議会を通じて、管轄の地域包括支援センターとの協力関係を築いている。協議会以外にも認定申請時など、折りにふれて行政職員との連携を深める努力をしている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束廃止について外部の勉強会に参加したり、事業所内でも勉強会を実施し、全職員が正しい知識を持つよう教育し、実際のケアにつなげるよう努めている。</p>	<p>標準ケアマニュアルによるチェックシートを活用して、身体拘束の禁止項目の勉強会をしている。その中でも言葉による拘束に留意して取り組んでいる。日中は玄関には施錠せず、職員は、利用者一人ひとりの外出の習慣、傾向を把握しており、安全を確保しつつさりげなく見守りを行い、自由な暮らしを支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>外部の勉強会に参加したり、事業所内でも勉強会を実施し、虐待防止に関する知識を高め、防止に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、成年後見制度等を活用されている方はいないが、必要性のある方がいれば随時それらを活用できるような支援を行っていく。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>事前面接も含め利用者、家族の希望や疑問点を聞き、それについて理解、納得してもらい、契約書等を十分説明のうえ同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者、家族との関わりの中で意見要望等を言いやすい関係づくりを心がけており、意見要望等があった場合は職員で話し合い、サービスに反映させている。玄関に意見箱を設置し、いつでも意見要望を出していただけるようにしている。また苦情相談窓口も設置し、契約の際に口頭と書面で説明している。</p>	<p>家族には、些細なことでも意見等を出してもらおうよう、口頭や便りなどで伝えている。現在、家族会はなく、行事の後に家族同士が話し合う機会をもつよう働きかけているが、参加が少なく実現していない。また、家族からの要望等について、職員間で対応策等を話し合い、家族に説明し同意を得ている。</p>	<p>家族同士が意見交換する場を設けるため、今後もクリスマス会などの機会を利用するなど、引き続き働きかけていくことを期待したい。</p>
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回ミーティングを開き、職員の意見提案等を聞く機会を設けている。また、必要があれば随時話し合いを行い、職員の意見をサービス向上に反映させている。</p>	<p>毎月の職員ミーティングや申し送り時などの機会を捉えて、職員の意見、要望等を聞き、運営に反映させている。職員から男性職員の採用や行事計画、物品購入などの意見が出されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の労働上の権利を守ることを心がけている。職員が向上心を持って仕事ができるように人事考課を行い、また、研修の機会も多く与えている。親睦会や2年毎の職員旅行を行ったり、リフレッシュ休暇を取得できるようにしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員に外部研修、法人内研修の情報を提供し、参加の機会を設けている。また、月に一度のミーティング時にも事業所内研修を行ったり、随時、伝達研修やOJTも実施している。法人全体として年間の研修計画に基づいた各種研修会が行われている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	平成20年7月、西部地域のグループホームが集まり情報交換や意見交換をする場として、西部地域グループホーム連絡会が発足している。2カ月毎に事業所が持ち回りで開催し、それぞれの事業所の抱える各種問題をテーマに討議している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面接時から、本人の希望や不安、要望など聴く機会を設け、本人の思いを受け止め、沿っていただけるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>事前面接時から、家族の希望や不安要望などを聴く機会を設け、家族が本当に求めているものは何かを理解し、信頼関係が築けるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、家族が必要としている適切な支援を見極め、必要であれば他のサービス利用も含め、助言している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>一緒に過ごし、日々の会話の中から今どんな思いであるのかを引き出し、本人がこれまで経験してきた事柄など教えていただく機会を設け、職員と共に生活していく関係をつくっている。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族の気持ちを尊重し、利用者の状況などを伝えたり、要望を聞くなど情報交換を十分に行い、一緒に支えていく関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	自宅や行きつけの美容院やスーパー、日曜市など本人の馴染みの場所へ出掛けたり、旧知の人々の来訪を受けたりして、人間関係や場所との関係が継続できるように配慮している。	知人、友人の訪問を受けたり、入居前から利用していた美容院で談話したり、散歩の途中で元の自宅を訪れたり、日曜市や競馬観戦に行くなど、利用者が大切にしてきた馴染みの人、場所との関係が継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個別に対応したり、集団で過ごす時間を設定したり、気の合う者同士で過ごす時間を持つなど、配慮している。	/	/
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も、家族からの相談事等があれば、相談に乗り、利用者の在宅生活の充実を図る支援をしている。	/	/
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に把握した、生活歴や楽しみ事などを念頭に、ホームの生活の中で、会話や表情等から本人の思いや希望を把握し、それに沿えるよう努めている。	入居時の情報に加えて、センサー方式の各シートを活用し、利用者の希望や意向等の把握に努めている。職員は、ケアのなかで利用者一人ひとりの言動等に留意しながら、生き甲斐のある日々を送ることができるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居の際に家族から聞き取りし、また、入居後も本人から話を聞くなど本人の人物像を把握し、暮らしに活かすよう努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>記録や申し送り、職員間の情報交換などで、日々の状態や心身の状況、本人の有する能力等を総合的に把握している。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>利用者、家族の意向を踏まえて、担当者、ケアマネージャー、他の職員等でカンファレンスを行い、ケアプランの評価・見直しを行い、新しいケアプランを作成している。またそれ以外でも状態の変化に応じてその都度見直しをしている。</p>	<p>担当職員の気づきや、利用者、家族の意見等も踏まえて、計画担当者を中心に介護計画を作成している。計画に対し、利用者から散歩の回数を増やして欲しいなど要望があれば、随時、柔軟な対応に努め、プランにも反映させている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアプランに基づいて日々の様子やケアの実践、結果、気づきを記録している。記録は全職員が確認し、記録を基にケアプランの見直しを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>月2回の往診制度がある。また、家族の事情に応じて通院介助や自宅への外出の援助など柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>公民館で行われている「いきいき百歳体操」に毎週参加することによって、公民館長、民生委員の方とのつながりを持っている。また、町内会長から地域の情報を提供してもらったり、家族と一緒にボランティアとして来所してもらったりしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者、家族の希望する医療機関やかかりつけ医を確認し、往診を受け入れている。また、協力医療機関による月2回の定期往診を行い支援している。</p>	<p>利用者、家族と話し合いのうえ、希望するかかりつけ医に受診できるようにしている。受診結果については、同伴した家族から直接聞き、職員が同伴した場合は、家族に電話連絡するなど、情報は共有できている。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ホーム内に准看護師が1名おり、日常の健康管理や医療面の相談、受診の対応をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時には医療機関に情報提供し、入院者への面会時にも病院関係者との情報交換や相談に努めており、退院後のグループホームでの生活がスムーズに再開できるよう環境を整えている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合は、家族、主治医と相談のうえ、今後の方針を決めるようにしている。終末期についての対応方針の取り決めはないが、健康管理や急変時については対応方針が決まっている。</p>	<p>緊急時の対応については、主治医など関係者と話し合うようにしているが、重度化した場合や終末期のあり方について、現段階では対応方針の取り決めはない。</p>	<p>利用者や家族の大きな不安のひとつは重度化した場合や終末期の対応である。そのため、事業所が対応しうる支援の方法及び方針などを作成し、早い段階から家族等と話し合い、利用者の状態と家族の意向を十分に聞きながら、支援することが期待される。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>全職員に普通救命講習Ⅰの修了を義務づけており、急変時に適切に対応できるようにしている。緊急時の対応全般については緊急対応マニュアルを作成し、全職員に周知徹底している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>事業所において総合防災訓練を実施するとともに、毎年年末に行われる町内防災訓練に参加し、地域の方々と一緒に防災訓練を行っている。また、毎日朝夕、館内の消防設備機器の点検を行っている。</p>	<p>事業所は定期的に総合防災訓練を実施しているが、地域住民の参加協力はない。なお、事業所は地域の防災訓練にも参加をしている。また、避難経路の確保、非常用食品、備品の確保はできている。</p>	<p>災害時の対応は、職員だけでは限界があるため、地域住民の協力が必要である。運営推進会議などの際、現状についての説明と避難の困難性などについて話し合うとともに、地域住民の訓練への参加、協力を働きかけることが期待される。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者それぞれに合った声かけや対応により、安心して生活できるよう配慮している。接遇に関する職場内研修を随時実施している。個人情報取り扱いについては個人情報使用同意書を頂いた上で慎重を期している。	職員は、利用者がその人らしく、日々生き生きと安心して生活ができるよう、人生の先輩として敬い、日常の声かけなどにも誇りやプライバシーを損ねないよう、注意し合っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の興味関心、希望を把握し、生活の中で自分で決定する場面が見られるようにしている。選択肢を用意し、意思表示しやすい状況を作るよう心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおまかな1日の予定はあるが、個々の要望をできるだけ尊重し、希望の中から外出や買い物など、それぞれのペースに合わせてできることを実行している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎朝本人が好きな装いができるよう選んでもらっている。行きつけの美容院がある方はその店を引き続き利用している。訪問理容と訪問美容業者が随時来所している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のメニューについては今日は何を食べたいかを聞き、調理、味付け、盛り付け等入居者と一緒に行い、片付けも共に行っている。	献立の作成は、利用者の希望をできるだけ取り入れている。利用者は、味付け、盛り付け、下膳、後片づけなど出来ることを能力に応じて職員と一緒にしている。また、利用者同士会話を交わしながら楽しく食事をしており、職員は日勤者が同じ食卓を囲んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	主食の量は一人ひとりに合わせている。水分は1日1300ccを目標に努めている。体調不良時にもスムーズに食事摂取ができるよう食事形態を変更するなど配慮している。日々の食事量、水分量を記録し、全職員が把握している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨き、うがい、義歯洗浄等は、一人ひとりの力に応じて見守りや介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	リハビリパンツやパットを使用しても一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導も個々の状況に合わせて行い、トイレでの排泄や自立に向けて支援している。	排泄チェック表を作成し、個別の排泄支援を行っている。時間を見計らってトイレへ誘導することにより、尿意の訴えができた利用者もいる。リハビリパンツから日中は布パンツになったり、尿取りパットの取り替えを自分でできるようになるなど、排泄の自立に向けた支援が行われている。	健康状態記録の排泄のチェック表は、殆ど記録はできているが、中には記載漏れが見受けられたので、チェックを徹底し、必要に応じて介護プランの目標を立て評価するなど、自立に向けた更なる支援を期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎日水分摂取量を記録し、確認を行っている。また繊維の多い食品や牛乳、ヨーグルトの摂取、散歩等の運動などにも取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>健康状態を確認し、週2回は入浴していただくようにし、利用者が希望すれば他の日にいつでも入浴してもらっている。楽しく快適に入浴してもらうために職員と一緒に入ったり、入居者同士で入ることもある。</p>	<p>朝の入浴や夕方入浴など、利用者の希望に沿った時間帯に入浴できる支援をしている。入浴を拒否する利用者には、職員の交替、時間帯の変更など工夫しながら支援をしている。身体機能の低下で浴槽に入ることが不安な利用者には、職員と一緒に入るなどして、くつろいだ気分で入浴できるように支援をしている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>夜は早く休まれる方、遅くまでゆっくりとテレビを見られる方、一人ひとりの生活習慣やその時の状態に応じて安心して気持ちよく休息できるよう支援している。不眠時は一緒にお茶を飲んだり、談話したりするなど配慮している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>利用者全員の薬の説明書をファイルし、一人ひとりに処方されている薬の情報が手元で確認できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個々の生活歴や残存能力を生かして家事を分担してもらい、興味を持てるものを考慮したレクリエーションを提供している。外出や屋外行事など生活空間から離れることで気分転換できるよう心がけている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>散歩、ドライブ、買い物、自宅近辺の馴染みの場所、家人の見舞いなど希望に合わせて外出している。状況に応じて複数で行ったり、個別に出掛けたりしている。</p>	<p>利用者は、日常的に事業所周辺を散歩したり、車椅子の利用者もスーパーに行き買い物をしている。遠方への外出は数名に分かれて事業所の車でドライブに行ったり、利用者全員の遠足などは介護タクシーを利用するなど、可能な限り希望に沿うよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一人ひとりの希望や力量に応じてお金を所持したり、使ったりできるよう支援している。また、日常所持していない利用者でも行事等の外出の際には、前もって家族に連絡し、一時的にお金を預かり対応している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>年賀状や暑中見舞いを家族に出したり、希望時には家族と電話で話せるよう支援している。家族からの手紙や電話を歓迎すると同時に、他の利用者には内容が漏れないようにプライバシーに配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関や居間等には季節感が持てるように生花や置物など季節に適したものを常に飾るようにしている。室内の照明にも配慮し、落ち着いて過ごせる空間作りをしている。ホームが自分の家であると思ってもらえるような環境作りを心がけている。</p>	<p>居間にはベンチ、ソファ、畳のコーナーがあり、家庭の延長として利用者がゆっくり自由にくつろげる雰囲気づくりに配慮している。また、利用者と職員と一緒に作ったオールドパワー展の出品作品を天井から吊したり、絵手紙、クリスマス用のリースを飾るなど、明るく、居心地良く過ごせる工夫が窺われる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食堂や居室以外でも廊下のソファや玄関ベンチでゆっくり過ごしたり、気のあった利用者同士で思い思いに過ごせる工夫をしている。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には使い慣れた家具や生活用品、装飾品などを持って来ていただき、利用者ご家族と相談しながら配置の工夫をしている。</p>	<p>居室には、馴染みの家具、家族の写真などが置かれ、生活の場として安心して過ごせるように工夫をしている。利用者によっては、家族が装飾した物を外したりすることもあるが、家族と話し合い本人が混乱しないように留意している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>理解力、認知力に合わせて対応している。居室トイレが分かりにくい利用者には目印を貼ったり、居室が分からなくなる利用者には部屋の前に大きく名前を書いて貼るなど、個々に合わせた工夫をしている。</p>	/	/

V アウトカム項目		ユニット名： 東・西ユニット	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない